

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

# Kokolab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 109  
2024.June

完成現場報告 掛川市『余白の家』

毎日を心地よく過ごす、  
ゆとりのある暮らし





# 毎日を心地よく過ごす、 ゆとりのある暮らし

家の中心となる薪ストーブと造りつけソファのある広間。子供室とスタディースペースを1mほど高くし、平屋でありながらも立体的な変化のある間取りを提案した。

## 完成現場報告

### 掛川市『余白の家』

文・写真／コロラボ 山崎健治

今回ご紹介するIさんご家族のお宅は、ご両親から受け継いだ実家の建て替えとして計画されました。ご両親は少し離れた場所に住居を移し、ご結婚後、実家を譲り受ける形でご夫婦が暮らし、その後、2人のお子さんと共に暮らしていました。お子さんが成長する中でいつか家を建て替えたいと思い、時間を掛けて少しずつ住まいについて勉強していました。家づくりの計画をする10年近く前だったと思いますが、Iさんご夫婦と初めてお会いしたのはいつだったか私も忘れてしまうほど前のことで、何軒かの見学会に参加されたり、私の自宅も見学いただいたことを覚えています。中でも一番の興味は薪ストーブで、伝兵衛堂さんの薪づくりグループにも参加し、家づくりの前からすでに薪ストーブ仲間が出来ているほどでした。Iさんのお宅は旧国道と川の間位置する土地で、南北に長い形状をしていました。二つの川が合流する位置にも近く、以前から川の氾濫について心配があり、家を建て替える時には地盤を高くし、不安を取り除きたいと強く願っていました。家づくりにはタイミングがあり、

Iさんもお仕事やご家族の事などあり、しばらくお会いする機会が無かったのですが、お子さんの成長に合わせて、いよいよ計画を進めたいと連絡をいただきました。

元々Iさんご家族の暮らすお宅は、母屋と倉庫、車庫があり、古いながらも色々と便利で暮らしやすい住まいだと感じていたようです。お庭には小さな畑もあり、倉庫には作業道具をたっぷりと収納できるスペースがありました。屋根付きで2台分の車庫もあり、雨の日の便利さや、車の保護にも活躍するスペースとして、日常の中で欠かすことの出来ない場所だと感じていました。Iさんにとっては小さな頃から長く暮らしてきた実家で、新しい家族もこの家に慣れていくということもあり、今の家の利点を活かしながらもより快適な住まいを求め、様々な要望を叶えた住まいをつくりたいと考えていました。今の家にあるスペースはそのまま再現しつつ、地盤を高く造成し、水害の心配の無い住まいにしたい事、薪ストーブを取り入れた暮らしをしたい事、明るく開放的な空間をつくる事などが挙げられました。また、北道路の長方形の敷地で、3方に建物が建っているため、プライバシーの面も気になっていました。盛りだくさんの要望と解決したい問題に対し、今までも経験のあるコの字型の建物形状と、子供室とスタディースペースをスキップフロアにする間取りを提案しました。





北側から見た外観。駐車スペースとして3台分の車庫を建物に合わせた外観となっている。縦長の敷地に対して車の回転スペースを確保し、スムーズな出入りが出来る駐車スペースになった。

コの字型プランに加え、大きな特徴となっているのが、車庫をはじめとする外部空間です。冒頭でもお話ししましたが、Iさんのお宅は元々車庫や倉庫があり、その便利さや重要性を感じていました。新しい住まいにも同じスペースをつくりたいと考えていたため、要望の中に車庫や倉庫も必須の条件になっていました。車庫は少し贅沢に3台分のスペースを確保し、倉庫は一段床が高くなっている子供室の床下空間を利用して、広い外部物入れを確保しました。外部物入れには自転車や畑で使う道具などが収納されています。また、玄関と車庫の間にご主人の趣味となっているバイクが置ける、シャッター付きのバイク小屋を設けました。バイク小屋があることで、車の出入りのための回転スペースが出来、無理なく3台の車が出入りできるスペースになりました。ここまで充実した外部空間をつくったのは初めてだったので、車庫と建物との取合いやデザインなどを考え、新しい発想で取り組んでいきました。道路から外観を見ると、車庫が大きなポイントになっているのがよく分かります。建物と同じ外壁材で仕上げ、軒裏や柱などにも無垢の木をふんだんに使った仕上げとし、建物との一体感を感じてもらえる外観になったと思います。

### 充実した外部空間

ソファからキッチンを見る。広間とキッチンは一体となった吹き抜け空間。明るく開放的で、天気や季節を問わず居心地のよい空間となっている。キッチン上のハイサイド窓は障子をはめ込んで西日対策をしている。優しい明るさが吹き抜け全体に広がり、居心地の良さを更に高めている。



中庭を活かした間取りと木組の見える開放的な広間  
敷地周辺の視線からプライバシーを守りつつ、開放的な間取りづくりの手法として、中庭を囲んだコの字型プランがあります。ココロボでも数件の実践経験があり、お施主さんからも好評をいただいています。家の中心に中庭を設ける事で、家の様々な場所から中庭を眺められます。また、季節や時間に変化する光に合わせた窓を設け、適材適所に合わせた明るさを確保出来ると考えています。中庭がある事で周辺から家の中が見える心配が減り、日中はカーテンを開けて過ごせます。大きな窓は外と内を繋ぎ、より開放感のある雰囲気が感じられ、室内から空を眺めたり、時には満月や星空を楽しめます。開放感のある暮らしは、豊かだと思いませんか。Iさんのお宅でも、大きな窓を開け放してデッキと繋がったり、一回を通して窓から光の入る明るい室内となっています。また、広間はダイナミックな木組を現している事もポイントです。現代の多くの家では隠してしまう構造材ですが、大工の手仕事から生まれる伝統技術を室内に現し、安心感と共に、木と木組の美しさを感じられる空間になっています。撮影の日はあいにくの雨でしたが、優しい光に満ちた、心地よい雰囲気を感しました。





**キッチン** 二の字型のアイランドキッチン。広く大きなステンレスカウンターが特徴で、家族みんなで料理を楽しめるキッチン。IHヒーターの前には油跳ね防止のガラス仕切りを設けた。壁タイルは名古屋モザイクのコロベル。



**クローゼット** 家族の衣類が入っているクローゼット。棚や洋服パイプ、下部に引き出しも造りつけた。3帖の広さがあり、たっぷりと収納できている。



**和室** ご夫婦の寝室として設けた和室。広間とは少し距離をつくり、離れのような和室となっている。雪見障子からは中庭が見え、趣のある部屋になった。



**浴室** 青森ヒバとサーモタイルでつくるココラボ定番の木のお風呂。浴室換気乾燥機は衣類乾燥や室内暖房用だが、天井と壁の木の乾燥にも役立っている。



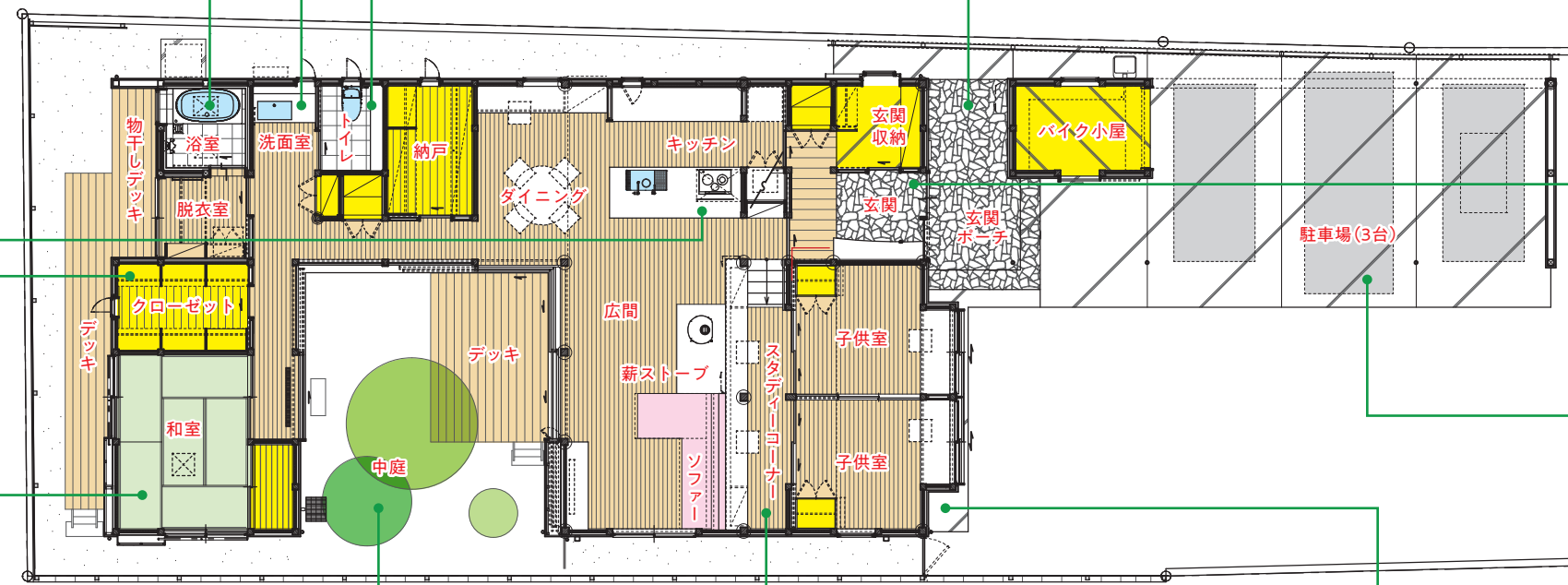
**洗面室** 脱衣室とトイレの間に設けた洗面室。カウンターが広く開放的で、混み合う朝の時間帯も問題なく使用できている。



**トイレ** タイル床と杉板、漆喰で仕上げたトイレ。ゆとりのある広さを確保し、将来の暮らしも考えた設計とした。カウンター下の収納もたっぷりと確保している。



**玄関ポーチ** 玄関と同様に諏訪鉄平石で仕上げたポーチ床。職人の技量とデザインセンスが求められる仕上げで、ココラボでは、石屋の石川さんでなければ頼めない仕事。



1F敷地平面図



**中庭** コの字型に囲まれた中庭。広間や和室、廊下から庭を眺めることが出来、それぞれの空間に明るさを届けてくれる。中庭にはデッキを設置し、今後は緑豊かな庭づくりを楽しんでいただきたい。



**スタディーコーナー** 子供の部屋の前室としてスタディーコーナーを設けた。長いカウンターを取り付け、広間の空間にいながらも個々の雰囲気を感じる暖かな空間となっている。



**玄関** 土間仕上げを諏訪鉄平石の乱張りにし、来客が腰掛けられるベンチを設けた。シューズクロークとの間に格子戸を設け、玄関の雰囲気を上げている。北玄関ではあるが、袖ガラスからの優しい光が全体を明るくし、機能的にも問題のない玄関となっている。



**車庫・バイク小屋** 玄関と屋根が繋がった車庫とバイク小屋。車からの出入りの際に雨に濡れずに移動できるのがポイント。屋根下空間はとても便利で、これからの梅雨の季節に重宝するスペースとなる。

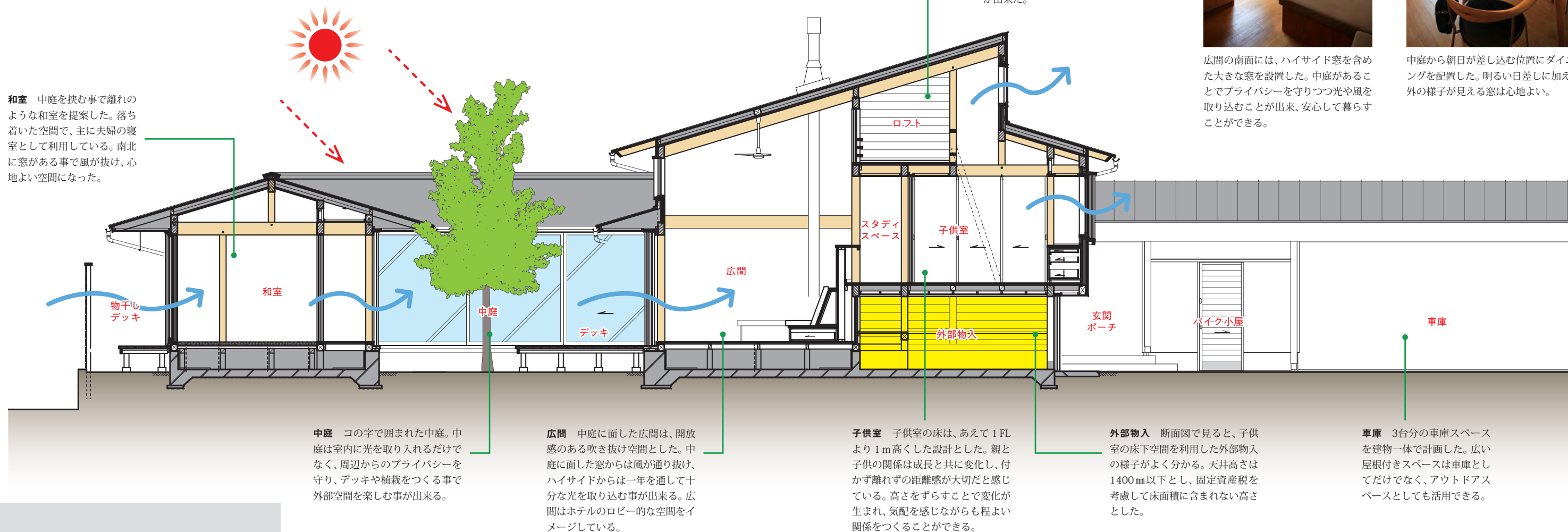


**外部物入** 床高さを1段上げた子供室の床下空間を利用して広い外部物入を設けた。自転車や外で使う道具など、様々なものが収納できるスペースとなっている。



## 建物形状や高さを変化させたプランは 断面図で検討しよう

住宅の間取り図はほとんど平面図で見る事が多く、立体的な断面図を見る事は少ないと思います。しかし、実際には三次元で存在する空間は、天井の高さやそれぞれの部屋との関係で大きく変わってきます。今回のIさんのお宅の様に、中庭があったりスキップフロアーになっているプランは、断面図で検討する事がとても重要です。光や風の流れ、それぞれの空間との関係など、断面図を見ながら解説します。



**和室** 中庭を挟む事で離れのような和室を提案した。落ち着いた空間で、主に夫婦の寝室として利用している。南北に窓がある事で風が抜け、心地よい空間になった。

**中庭** コの字で囲まれた中庭。中庭は室内に光を取り入れるだけでなく、周辺からのプライバシーを守り、デッキや植栽をつくる事で外部空間を楽しむ事が出来る。

**広間** 中庭に面した広間は、開放感のある吹き抜け空間とした。中庭に面した窓からは風が通り抜け、ハイサイドからは一年を通して十分な光を取り込む事が出来る。広間はホテルのロビー的な空間をイメージしている。

**子供室** 子供室の床は、あえて1FLより1m高くした設計とした。親と子供の関係は成長と共に変化し、付かず離れずの距離感が大切だと感じている。高さをずらすことで変化が生まれ、気配を感じながらも程よい関係をつくる事が出来る。

**外部物入** 断面図で見ると、子供室の床下空間を利用した外部物入の様子がよく分かる。天井高さは1400mm以下とし、固定資産税を考慮して床面積に含まれない高さとした。

**車庫** 3台分の車庫スペースを建物一体で計画した。広い屋根付きスペースは車庫としてだけでなく、アウトドアスペースとしても活用できる。



**ロフト** 子供室から利用できるロフト。屋根裏空間を利用して子供室の上部にロフトを設け、立体的な空間を利用している。ロフトは梯子で上り下りし、楽しい子供室が出来た。

広間の南面には、ハイサイド窓を含めた大きな窓を設置した。中庭があることでプライバシーを守りつつ光や風を取り込むことが出来、安心して暮らすことができる。



中庭から朝日が差し込む位置にダイニングを配置した。明るい日差しに加え、外の様子が見える窓は心地よい。

### 仕様内容

家族構成	家族4人
敷地面積	448.25㎡
建築面積	174.05㎡
延べ床面積	174.61㎡
構法	落とし込み板壁構法
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼・マサ土掻き落し仕上げ・杉赤目透かし貼
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、タモ(ペアガラス) アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm 青森ヒバFJ 本実板張り 厚15mm
壁	杉落しし込み板現し・漆喰塗・青森ヒバFJ 本実板張り
床	栗本実板・山桜本実板・青森ヒバFJ 本実板(全て厚15mm)
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスパイプレーション天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室(壁・天井：青森ヒバFJ、床：サーモタイル)
竣工	令和2年10月

駆け出しの頃は感覚が分からず、先輩から注意を受けたり、自分で何度も敷地に行つてイメージしたみたりと苦労と失敗を重ねた事を思い出します。敷地や要望に対し、単純な間取りを提案する事はリスクを抑えられますが、それでは住まい手を満足させる事はできません。日々勉強ではありますが、これからは設計者としての感覚を育て、良い提案をしていけるように努めたいと思います。最後に、Iさんの家づくりを振り返ってみると、長い時間をかけて住まいについて学び、自分たちの要望を整理し、妥協せず実践された、Iさんご夫婦の思いがいっぱい詰まってお宅になったと思います。家は完成しましたが、ご夫婦の探究心はこれからも続き、もっと良いお宅に育っていくと思います。私も協力させていただきながら今後を楽しみにしたいと思います。

家づくりの成功の秘訣は、初期段階の基本計画にあり。今回ご紹介したIさんのお宅を断面図で見ると、平面的にも断面的にも少し変わった形状だと思えます。これは、敷地やご夫婦の要望、より暮らしやすい生活への提案など、色々な要素が重なって出来上がった形です。各部屋の繋がりが採光、収納計画やデザインなど、家の計画にはたくさん要素があり、それらを一つの家として計画していく事は簡単ではありません。そして、家の設計が進む中で修正できる事もありますが、やはり初期段階の基本計画がとても重要で、配置や各スペースのボリュームは全体を見ながら決めていかなくては上手くまとまりません。断面図を見ると、中庭がある事で生まれる採光や部屋の繋がりが、子供室を一段高とした事によって確保できた床下の外部物入れなど、計画当初からの基本計画が重要なポイントになっている事がわかると思います。その他、今回の計画は敷地全体を1m程高くする造成工事を行なったため、道路と敷地には高低差が生まれ、十分な距離や回転スペースが無いと、車の出入りなど毎日の生活に支障をきたし、大きな問題へと繋がります。私たちに依頼をしていただける住まい手は、これらの検討点について把握することは難しく、設計者の大きな責任の上で成り立っていると思います。私も

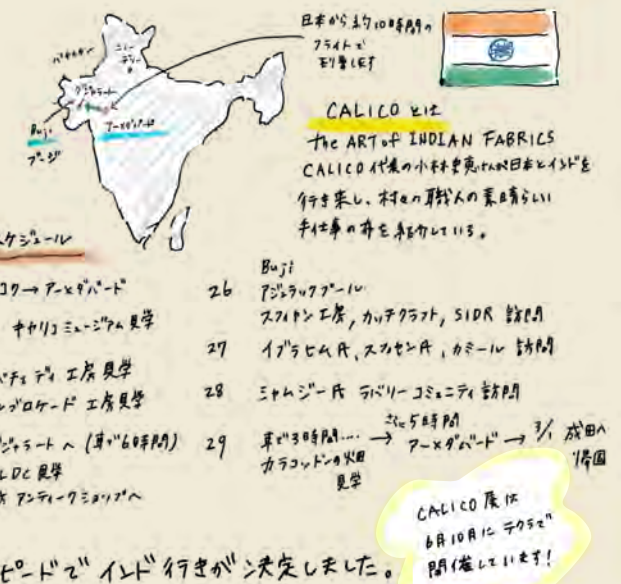


# 私の好きな 愛い道具たち 14

うつわ暮らしの道具テクラ  
店主 宮入由起

静岡市葵区で中仕事の商品を  
みなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と  
2人の女の子4人暮らし。夢は旅をしたから命をきき  
旅日記を出版すること。仕事を喜びを染むがモットー

今回は2月に私が行ったインドの方々の様子を  
お伝えします。テクラでもお世話になっている  
**CALICO (カリコ)** さんの果ては2023年  
私はとにかくインドの牛仕事に  
憧れ込んでいる。



3度か思い出せる事があり、ものすごいタイミングとスピードでインド行きが決定しました。  
今回は CALICO 代表の小林史英さんの旅に同行させて頂き職人さんと一緒に旅でした。  
10日間も一人で出掛けるとなると11月27日「早く送り出してくれた 主人 娘たち、仲間たちに本当に感謝して  
きて、こんな奇跡のようないタイミングで友達が自分の人生に用意させていたなんて...!! 今も夢だか否か  
信じられないのです。方々は おかげで木業で業日暮らしの糸屋さんと知りました。  
空気、光、風がどこか違う。今まで聞かされた 美しい布の現場に自分もいる。遠く遠く西の果て  
砂漠まで、くらくらと飛んでくる 遠くこの場所、同じ地球の中にいる世界が広がる。  
牛や犬が自由にのびのびと生きていて 国籍性を表していきなうした。 何処に一言で話さなくても



事は「カリコ」ですが、今回の旅で私は新しい扉を開け、そして  
体中の細胞が目覚め  
瞬間を、日本を離れることで  
取り戻したのです。美しい  
インドの旅日記は、  
note で少しずつ書いています。  
ご興味のある方は  
こちらを覗いて下さい →



うつわ  
暮らしの道具  
テクラ

Instagram @tekura\_miyairi  
@tekura2013yk(私)  
@miyairiyuki(イラスト)

静岡市葵区大岩1丁目1-25  
054-246-2856  
OPEN : 13時~17時  
CLOSE : 火・水 その他有

## ペピマン



4月に島田駅前からはんの少し山間に移転しました。

small woods をコンセプトに、森の中の木漏れ日・木々のざわめき・小鳥の鳴き声……そんなイメージの花屋を目指して店づくりをしています。ギフトの他にも日々の暮らしの中での花やグリーンの提案もしてまいりますので、どうか今後とも宜しくお願い致します。

[住 所] 島田市旗指2927-5  
[TEL] 0547-34-4351  
[OPEN] 11:00~18:30(日祝は18:00)  
[定休日] 月・火曜日

[SNS] Instagram: @pepiement05



## motonaga



2015年より motonaga として水引を使ったアクセサリーの販売を開始。ここ数年はアクセサリーに限らず、洋服やアート作品など取り扱いアイテムの幅が広がっています。現在、静岡市にアトリエ兼店舗を構えて、静岡を拠点に制作活動をしています。クラフトイベントへの出展、自分たちアトリエでの企画展、お取引店舗さまでの pop up、卸などを中心に販売を行っています。

[住 所] 静岡市葵区鷹匠3丁目5-14第二ふじのビル2階北  
[OPEN] 12:00~17:00  
[定休日] 不定休

[SNS] Instagram: @motonaga\_



「ココラボ設置店」より...



「KoKolab」  
Facebook ページ



Instagram  
@kokolab.ie





発行人 有限会社こころ木造建築研究所  
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

#### 担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集 … Branch 村上幸枝

印刷所 … 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や  
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

#### 会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

#### 編集後記

3月～5月は、完成のお宅や着工のお宅、建前準備など慌ただしい日々が続きました。お客さんとの打合せを繰り返して、材料発注や職人に内容を伝えて現場は進みますが、やはり着工と完成のタイミングには現場とのやりとりが多く、現場にいる時間が多くなります。昨日打合せしたのに今日もまた伝える事が出たり、急に心配になって現場に駆けつけたり、現場は最も気になる存在で、ハラハラドキドキの連続です。建物が完成し、すべてチェックした後の満足感は何とも言えない感覚ですが、同時に少し寂しさを感じる瞬間でもあります。もう100軒以上も木の家をつくり続けてきましたが、この感覚は変わることはないようです。さて6月。新しい家づくりもスタートし、今度は年内完成に向けて頑張っていきたいと思います。(山崎健治)



## 🏠 焼津市『くらびの家』構造現場見学会を行います。

土地探しから共に行ったUさんご家族の家づくり、開放的で伸び伸びとした敷地に大きな屋根が特徴の板倉の家を建築中です。素材や設備、家具や照明器具など、ひとつひとつを吟味し、長く愛せる本物の家づくりにこだわりました。また、素材と合わせて職人の仕事にもこだわり、大工の手仕事を見せるデザインも見所です。

◆ 日時：2024年7月中旬(日) 10:00～17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：焼津市

## 🏠 静岡市『すてきな仲間の家』完成現場見学会を行います。

5月下旬に建前を行った『すてきな仲間の家』は、平面が土地形状と同じ扇型にし、屋根も独特の形となりました。屋根を支える架構はとても難しい加工となりましたが、大工の手刻みで美しい空間になりました。今回の建物は「親子カフェ」。この空間がたくさんの方の癒しの場になる事を願っています。

◆ 日時：2024年9月上旬(土・日) 10:00～17:00(予約制)

※詳細日程はHP、またはSNSでご確認ください

◆ 場所：静岡市

※見学会の詳細情報はココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でお知らせします。

※コロナウィルスの影響により、開催の変更がある場合があります。ホームページにてご案内いたします。

## 🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、何でもご相談ください。

◆ 日時：7月6・7日(土・日)

8月3・4日(土・日)

10:00～17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4

## 🏠 こころばの家オープン日

展示場を見学していただくことができます。ぜひお越しください。

◆ 日時：7月6・7日(土・日)

8月3・4日(土・日)

10:00～17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29

『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4

## スタッフ募集

### <設計・現場管理スタッフ>

住宅、非住宅問わず木造建築に興味のある方、また経験のある方募集です。当社は設計者と職人が共に協働し、設計から施工まで行う建築スタイルです。建築のプロフェッショナルとして、知識と経験を共に高めていきましょう。

職種：建築設計・施工管理

雇用形態：正社員

仕事内容：木造建築の設計・施工管理・積算等

採用人数：1～2名程度

<応募条件>

勤務地：島田事務所(島田市)

年齢：～35歳

学歴：不問

必要な免許・資格：普通自動車運転免許・1級建築士または2級建築士

必要なPCスキル：Word・Excel・JW-cad

※SketchUp・Illustratorが使える方優遇

詳細はHPの「お知らせ」をご覧ください。

### <設計補助業務アルバイトスタッフ>

木造住宅や建築に興味のある方、建築関係の学校に通っている学生さん等のご応募お待ちしております。要望や質問も応募フォームに記載いただき、エントリーをお願いします。

職種：建築設計(意匠設計・積算)補助

雇用形態：アルバイト

仕事内容：CAD図面作成や住宅模型作成等

採用人数：1～2名程度

<応募条件>

勤務地：島田事務所(島田市)

年齢：～45歳(学生・インターン可)

必要な免許・資格：普通自動車運転免許

必要なPCスキル：Word・Excel・JW-CAD

経験者、設計事務所や建設会社勤務等の経験者優遇